

海外安全対策情報（平成28年度第4四半期：コロンビア）

1 社会・治安情勢

(1) コロンビア政府とE L Nの和平交渉をめぐる動向

1月13～18日、エクアドルにおいてコロンビア政府とE L Nが協議し、最終日の18日には、翌2月7日にコロンビア政府との間でE L Nとの正式に和平交渉を開始することに合意したことが発表された。これを受け、2月2日、E L Nの人質となっていたオディン・サンチェス元国会議員が解放された。これと同時に、交換条件とされていた政府によるE L Nのゲリラ2名の解放が行われた。2月7日、エクアドルのキト郊外のカシャパンバ農園において、政府とE L Nとの和平交渉開始式典が開催された。

(2) 人民革命運動を名乗る者による爆弾事件

1月18日、ボゴタ市内財務・公債省国税・関税庁付近の空き部屋で、パンフレット爆弾（主義主張を記載したチラシをまくためのもの）が爆発し、2名が負傷した。同チラシは人民革命運動（Movimiento Revolucionario del Pueblo）名で、政府の政策を批判する内容が記載されていたほか、爆発があった部屋からは政治的色彩のある旗が掲揚されていた。また、20日、ボゴタ市内の別の財務・公債省国税・関税庁事務所の女子トイレ内で爆発物が発見された。これらは、ボゴタ市内の国立大学等に所属する学生で構成されるE L N国民都市戦線が、中央司令部の命令を受け、実行したとの見方がなされている。

(3) E L Nによる爆弾テロ事件

2月18日、ボゴタ市とメタ県ビジャビセンシオ市を結ぶ幹線道路で、パトロール中の軍に対する攻撃が発生。国軍司令官は、E L Nによる犯行であるとした。2月19日、ボゴタ市内サンタマリア闘牛場付近にて爆弾テロ事件が発生した。数日後に警察官1名が死亡した他、25名が負傷し、そのうち23名が警察官であった。本件は、動物愛護団体による闘牛に対する抗議活動を警戒していた警察官を狙った犯行であった。25日、E L Nのオフィシャルラジオのツイッター・アカウントが「都市部におけるE L Nのコマンド部隊が、機動隊に対し爆弾攻撃を行った。」との犯行声明を発出した。

(4) 太平洋岸における避難民の増加

3月8日、国連難民高等弁務官事務所は、バジェ・デル・カウカ県ブエナベントゥーラ市の山間地域、チョコ県、カウカ県及びナリーニョ県の太平洋岸において、組織間抗争に伴うアフリカ系先住民等の避難民の増加を指摘し、特に、F A R C兵が一般市民に変わる過程に伴い危険が高くなる地域において、住民を守っていく必要があると警鐘を鳴らした。

2 一般犯罪の傾向

(1) 犯罪別発生件数

第4四半期（1月～3月）のコロンビア全国における罪種別犯罪発生件数は以下のとおり（出典：コロンビア国防省統計）。

・殺人	2, 7 4 5 件
・強窃盗（対人被害）	2 7, 4 6 4 件
・強窃盗（邸宅, 商業施設被害）	4, 6 4 1 件
・強窃盗（乗物被害）	7, 6 4 6 件
・性犯罪	1, 9 4 4 件

(2) 邦人及び外国人の犯罪被害事案

- 2月7日, ボゴタ市の大使館近くのレストランにおいて, 在留邦人が窃盗（置引き）被害に遭った。
- 報道によると, 2月17日未明, マグダレナ県サンタ・マルタ市北部に位置し, 欧米からの観光客に人気のタガンガの浜辺において, コロンビアや欧米からの旅行者12名が強盗に襲われ, うち米国人女性が性的暴行の被害に遭った。
- 3月4日, 在留邦人がボゴタ市内の自宅マンションに入ろうとしたところ, 男が現れマンションのガラス戸をたたき守衛に道を訪ねた。被害者はこの様子を見ていた隙に, 背後の女にリュックサックのファスナーを開けられ, 財布を窃取された。
- 3月5日午後2時頃, ボゴタ市内中心部において, 短期留学生が貧困地区に入り込んだところ, 強盗に凶器を突きつけられた。被害者は抵抗せず, 所持品を差し出したが, その際, 強盗の所持する凶器が被害者の左手に触れ, 切り傷を負った。

3 テロ・爆弾事件発生状況

(1) 発生件数（1月～3月）（出典：コロンビア国防省統計）

24件

(2) 発生事案

報道等によると, 国内において, 以下のテロ・爆弾事案が発生した。

- 1月8日, アラウカ県アラウキータ市において, パイプラインに仕掛けられた爆発物が爆発, 確認のために軍が現場に到着したところ, 再び爆発があり, 兵士1名が負傷した。E L Nの犯行とみられている。
- 1月15日, ボリーバル県南部のサンタ・ロサ市の民家において, E L Nのものともみられる大量の爆発物とけん銃等の武器が軍により押収された。
- 1月18日, ボゴタ市内で主義主張を記載したチラシをまくためのパンフレット爆弾が爆発し, 2名が負傷した。

- 1月20日、ボゴタ市内の財務・公債省国税・関税庁事務所の女子トイレ内で爆発物が発見された。
- 1月31日、ノルテ・デ・サントアンデール県カタトゥンボ地区において、ELNと軍の衝突により、兵士が1名が殺害された。
- 2月8日、バジェ・デル・カウカ県カリ市東部の民家に仕掛けられた爆弾が爆発し、住民1名が死亡、複数名が負傷した。
- 2月10日、ボゴタ市内のイラン料理店において、爆発物が爆発し、客のカナダ人等が負傷した。その後、2月18日にも同店舗を狙った爆弾事件が発生した。
- 2月18日、ボゴタ市とメタ県ビジャビセンシオ市を結ぶ幹線道路で、パトロール中の軍に対する攻撃が発生、兵士4人が負傷。国軍司令官は、ELNによる犯行であるとした。
- 2月19日、ボゴタ市内サンタマリア闘牛場付近にて爆弾テロ事件が発生した。数日後に警察官1名が死亡した他、25名が負傷した。25日、ELNが犯行声明を発出した。
- 2月22日、アラウカ県タメ市において、ELNによって公共バスが襲撃された。
- 3月3日、ノルテ・デ・サントアンデール県カタトゥンボ地区において、元EPL（人民解放軍）幹部の逮捕直後に交番が襲撃され、警察官1名が死亡した。
- 3月11日、アラウカ県フォルトゥル市において同県アラウカ市からサントアンデール県ブカラマンガ市に向かうバスがELNによって放火されるなど、3月上旬で同県内でELNによるとみられるバスへの放火事件が4件発生した。当局は、ELNによるバス運行会社への恐喝事案との見方をしている。
- 3月20日、ルテ・デ・サントアンデール県カタトゥンボ地区において、同県警察捜査部門責任者が元EPLによるとみられる者により殺害された。

4 誘拐・恐喝事件発生状況

(1) 発生件数（10月～12月）（出典：コロンビア国防省統計）

ア 誘拐	42件
イ 恐喝	913件

(2) 発生事案

報道等によると、以下の誘拐等事案が発生した。

- 1月28日、ノルテ・デ・サントアンデール県テオラマ市において、社会活動家10人が元EPLとみられる者に一時拘束された。
- 2月17日、ノルテ・デ・サントアンデール県において、同県エル・カル

メン市市長の父親が誘拐された。E L Nによる犯行とみられている。

5 日本企業の安全に関する諸問題

政府の継続した治安対策により、ボゴタ市を始めとする都市部では、テロ、殺人及び誘拐の発生は減少し、都市部での治安状況は過去と比べ著しく改善された。

しかし、本年1月以降もボゴタ市内で爆弾テロが複数件発生するなど、警戒を怠ることはできない状況。また、未だ山間部やジャングル地帯を中心に治安機関及び石油・電力施設を狙ったテロが頻発している。これら地域は、国軍・警察の影響力が低いため、人的・物的被害が絶えない。

昨年、11月24日、新和平合意が署名され、和平合意事項実施のための関連法案の審議が順次行われている。可決された恩赦法が適用されるのは2017年半ば以降となり、恩赦の対象となったとしても、社会復帰が出来ない元ゲリラ兵が一般犯罪に手を染めるなどの可能性もある。

従って、特に地方への訪問については、その可否を決定する上でも、外務省、大使館、現地治安当局より最新の治安情報を入手するよう努めていただきたい。